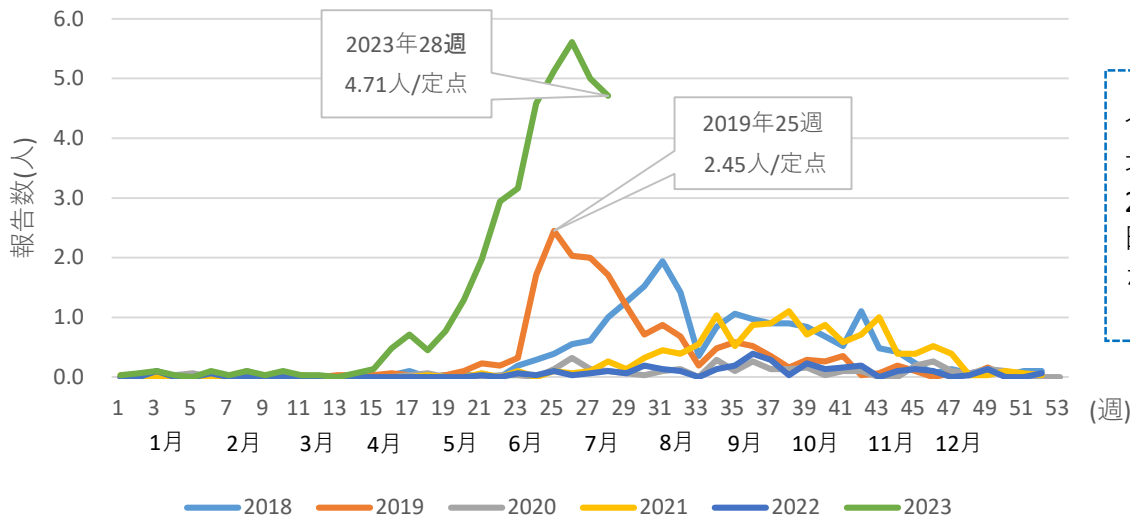




# ヘルパンギーナが大流行しています！



今年は4月頃から増加し、すでに2019年のピーク時の倍以上となっています！

参考：神戸市感染症統合情報システム 週報

## ヘルパンギーナってどんな病気？

主にコクサッキーウイルスによる夏風邪の代表的な病気の一つで、乳幼児を中心に初夏から秋にかけて流行します。(発症は1歳が最多で主に4歳～5歳以下)

突然の38～40℃の発熱が1～3日間続き、口の中に小さな水ぼう(痛みを伴う)ができ、7日程度で治ります。乳幼児は食事や水分がとりにくくなり、脱水症をおこすこともあります。治療には解熱剤を用いる等の対症療法が一般的です。

## 感染対策

接触感染



- ・オムツ交換後の石鹸でのこまめな手洗い
  - ・子どもたちが日常的に使うトイレやおもちゃなどの消毒
- ※消毒用アルコールは効きません。  
塩素系の消毒剤などで消毒しましょう



飛沫感染



- ・まめな手洗い
- ・子どもの周りの方で、咳などの症状がある人のマスクの着用



## ポイント！

症状がおさまった後でも、2～4週間は便の中にウイルスが含まれています。トイレ使用后やおむつ交換後、食事前は手洗いを徹底しましょう。